

1 環境に関する市民アンケート

市民の皆様から環境に関するご意見をいただき、本計画策定と本市の今後の取り組みに活かすため、『遠野市環境に関する市民アンケート』を行いました。

アンケート結果について報告します。

(1) 調査方法

調査対象：一般市民 800 人、中学生 229 人、事業所 60 箇所

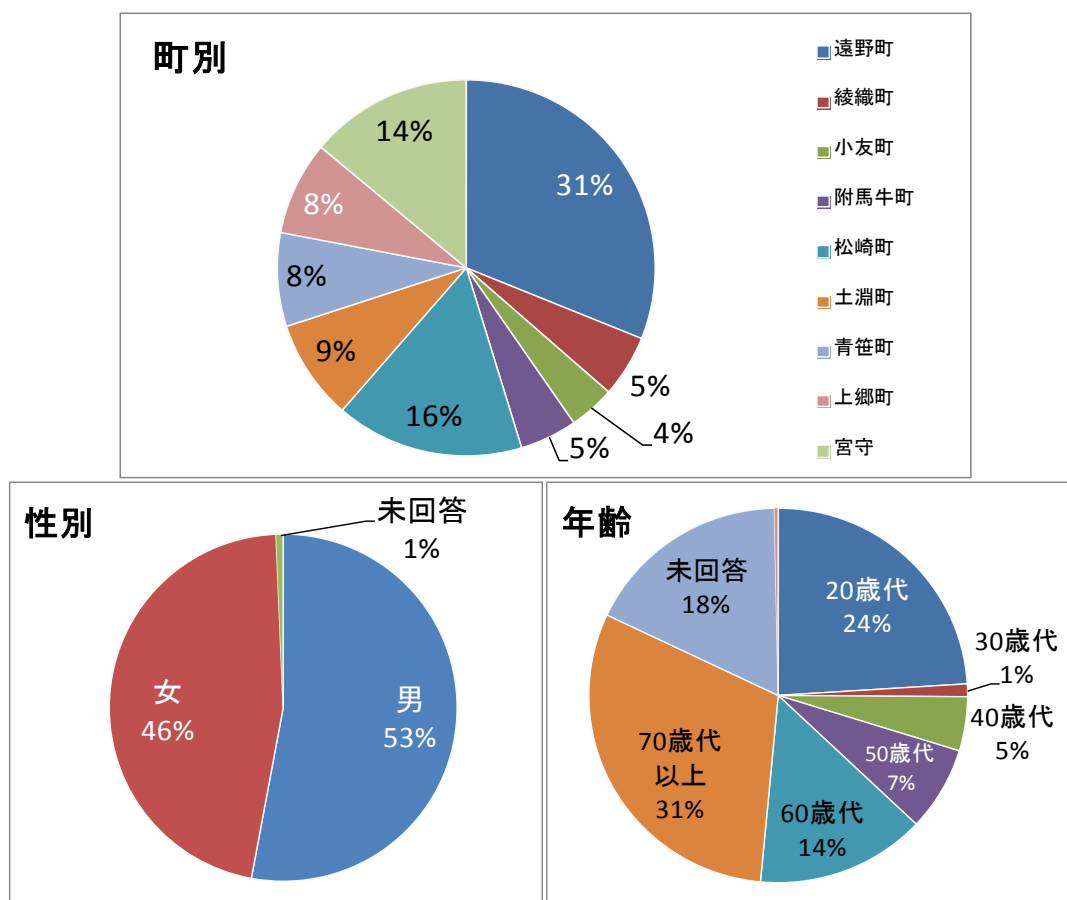
調査方法：市民は、区長会に協力要請し、各地区において配布・回収を行った。
中学生は、市内3校の中学2年生を対象にし、中学校に協力要請した。
事業所は、市内事業所のうち、偏らないよう業種を調整し、送付・返送した。

(2) 回答の状況

	配布部数	回収部数	回収率
市民	800	702	87.8%
中学生	229	222	96.9%
事業所	60	48	80.0%
計	1089	972	89.3%

(3) 属性

回答者の町別、性別、年齢構成は次のとおりです。



(4) 《 ごみ処理に関するアンケート 》【市民・中学生】

Q10 あなたは、ごみの減量やリサイクルに関心はありますか。

1	非常に関心がある
2	ある程度関心がある
3	あまり関心がない
4	まったく関心がない
5	わからない

< 回答欄 >

Q11 あなたは、日頃からごみの減量やリサイクルを実践されていますか。

1	日々実践している	Q13 へ
2	ある程度実践している	Q13 へ
3	あまり実践していない	Q12 へ
4	実践していない	Q12 へ
5	わからない	Q13 へ

< 回答欄 >

Q12 Q11で「3 あまり実践していない」、又は「4 実践していない」と回答した方にお聞きします。

あなたが、ごみの減量やリサイクルに消極的な理由は何ですか。(複数回答可)

1	面倒だから
2	ごみの分別方法やリサイクルの方法がわからないから
3	ごみの減量やリサイクルに関心が無いから
4	資源ごみを保管する場所が無いから
5	その他()

< 回答欄 >

Q13 ごみの減量やリサイクルを進めるうえで大切なこと、また取り組んでいることについてお聞きします。それぞれ、該当する欄に○を記入してください。(複数回答可)

	項目	大切である	取り組んでいる
1	資源ごみ(紙、プラ、缶、衣類等)の分別を徹底する		
2	詰め替え商品を選ぶ		
3	むだなものを出来るだけ買わない		
4	食材の買いすぎや食べ残しをせず、生ごみを出来るだけ出さない		
5	生ごみを堆肥化する		
6	マイバッグを持参し、レジ袋はもらわない		
7	過剰包装を断る		

Q14 市では現在、もえるごみ、もえないごみ、資源ごみなど 14種類に区分して収集を行っていますが、この区分についてお聞きします。

1	多すぎる
2	ちょうどよい
3	もっと細分化した方がよい
4	わからない

< 回答欄 >

(14種類の内訳)

- ①もえるごみ ②もえないごみ ③新聞紙 ④ダンボール ⑤紙パック ⑥雑がみ ⑦飲料缶
 ⑧びん(無色) ⑨びん(茶色) ⑩びん(その他) ⑪ペットボトル ⑫プラ製容器包装
 ⑬粗大ごみ ⑭衣類

ごみの減量活動に取り組む、遠野市公衆衛生組合の活動についてお聞きします。

Q15 ごみの減量化につながる物品の購入助成(あっせん)をしておりますが、このことを知っていますか。

1	知っている →Q16へ	2	知らない →Q17へ	< 回答欄 >	
---	-------------	---	------------	---------	--

Q16 Q15で「1 知っている」と回答した方にお聞きします。

これまでの利用実績と今後の予定について、該当する欄に○を記入してください。

項目	利用したことがある	今後利用したい	利用の予定は無い
生ごみ処理容器 (コンポスト)			
生ごみ処理機 (電動・手動)			
紙ひも			

Q17 資源ごみの分別を推進するため、自治会やPTAなどが取り組む、資源ごみの集団回収について奨励金を交付していますが、このことを知っていますか。

1	知っている →Q18へ	2	知らない → Q20へ	< 回答欄 >	
---	-------------	---	-------------	---------	--

Q18 Q17で「1 知っている」と回答した方にお聞きします。

これまで、集団回収に取り組んだことはありますか。

1	毎年取り組んでいる	Q20 へ
2	取り組んだことがある	
3	関心があるので、これから取り組みたい	
4	関心はあるが取り組んだことがない	Q19 へ
5	関心がない	
< 回答欄 >		

Q19 Q18で「4 関心はあるが取り組んだことがない」、又は「5 関心がない」と回答した方にお聞きします。

あなたが、集団回収に消極的な理由は何ですか。(複数回答可)

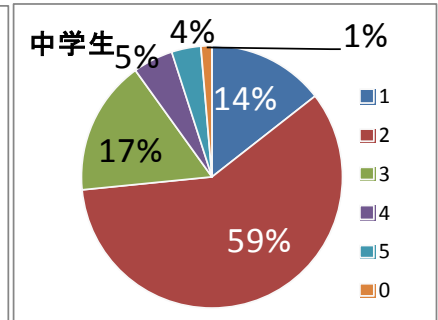
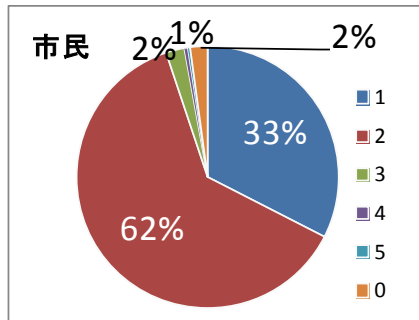
1	面倒だから
2	集団回収のやり方がわからないから
3	ごみの減量やリサイクルに関心が無いから
4	資源ごみを保管する場所が無いから
5	その他()
< 回答欄 >	

(5) アンケート集計

【市民・中学生】

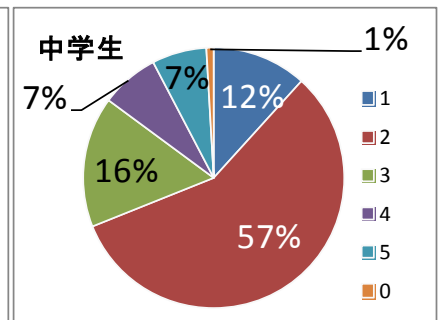
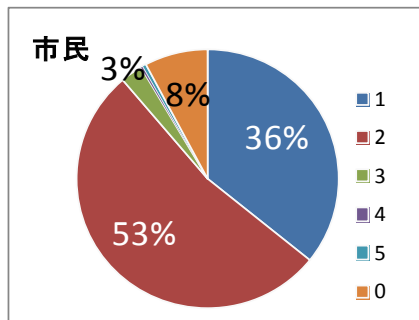
Q10 あなたはごみの減量やリサイクルに関心はありますか。

1	非常に関心がある
2	ある程度関心がある
3	あまり関心が無い
4	全く関心が無い
5	分からない
0	未回答

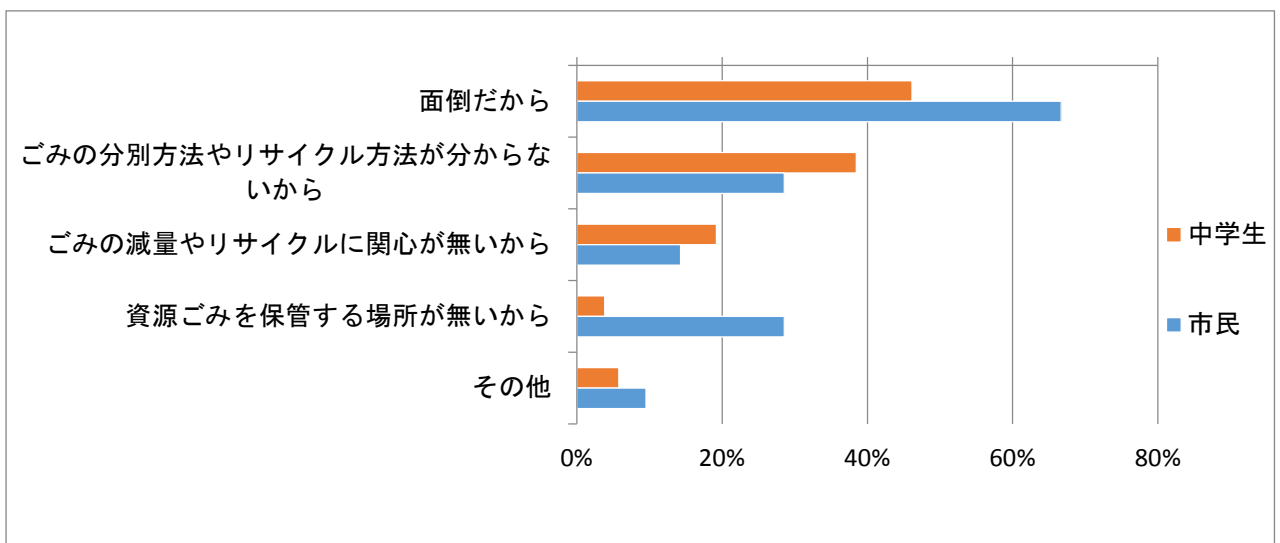


Q11 あなたは、日頃からごみの減量やリサイクルを実践されていますか。

1	日々実践している
2	ある程度実践している
3	あまり実践していない
4	実践していない
5	分からない
0	未回答

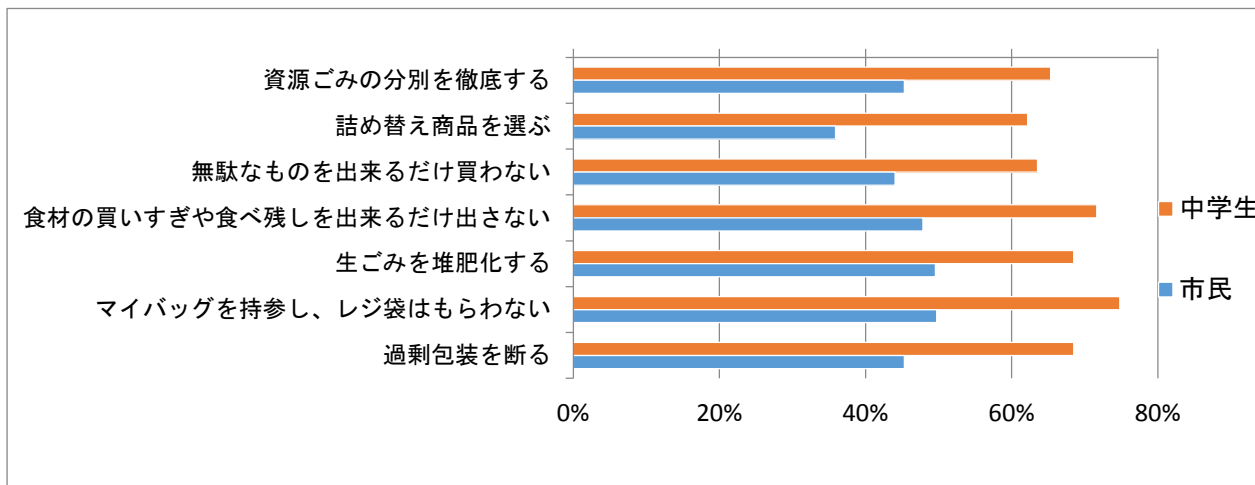


Q12 あなたが、ごみの減量やリサイクルに消極的な理由は何ですか。

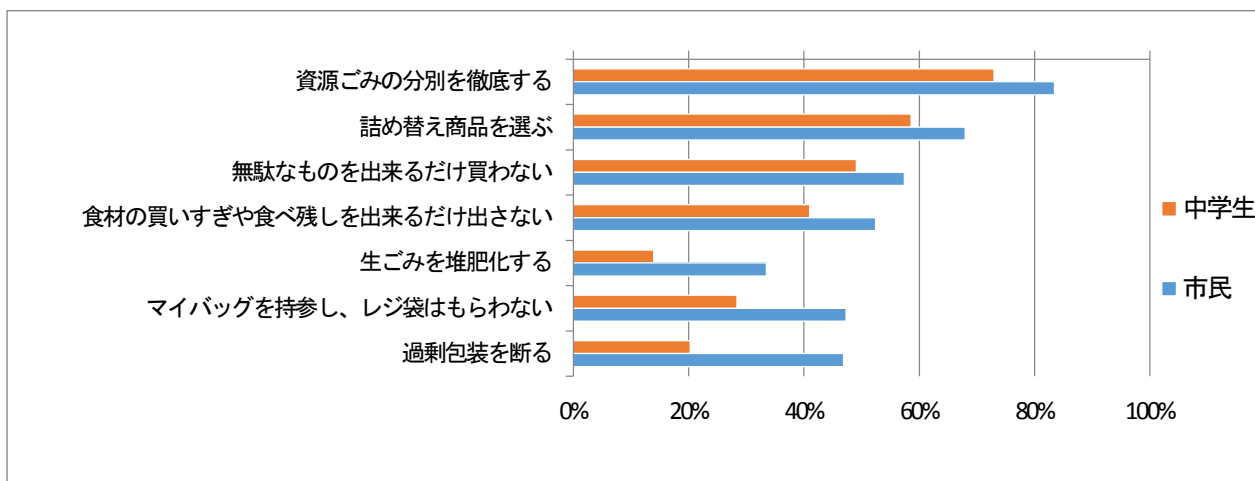


Q13 ごみの減量やリサイクルを進めるうえで大切なこと、また取り組んでいることについて

【大切である】

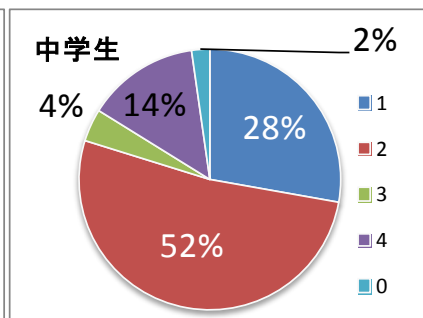
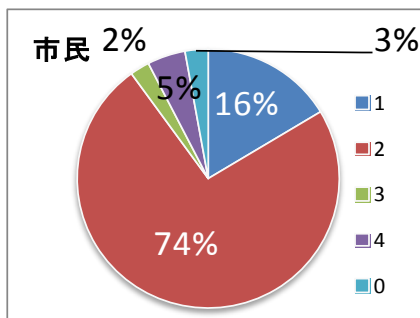


【取り組んでいる】



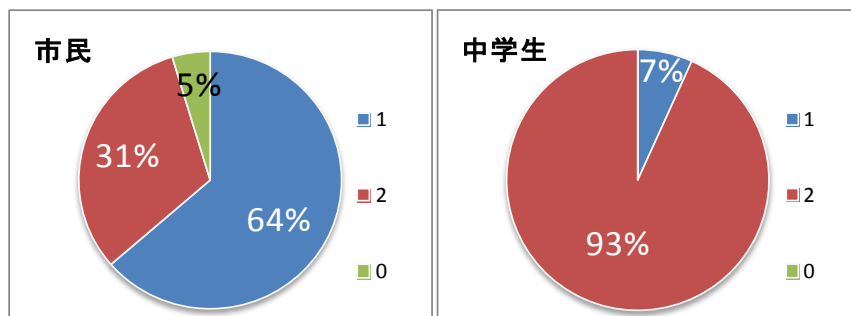
Q14 14種類の区分収集について

1	多すぎる
2	ちょうどよい
3	もっと細分化した方がよい
4	わからない
0	未回答

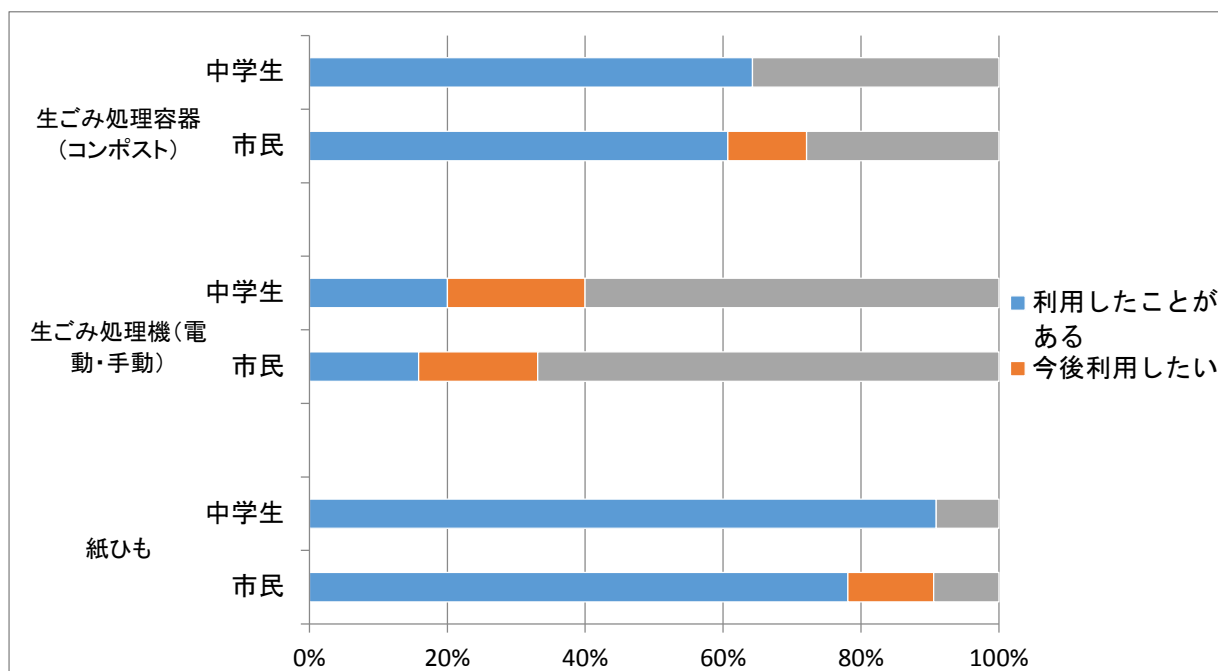


Q15 ごみの減量化につながる物品の購入助成（あっせん）をしていますがこのことを知っていますか。

1	知っている
2	知らない
0	未回答



Q16 Q15で「知っている」と回答した方のこれまでの利用実績と今後の予定について。

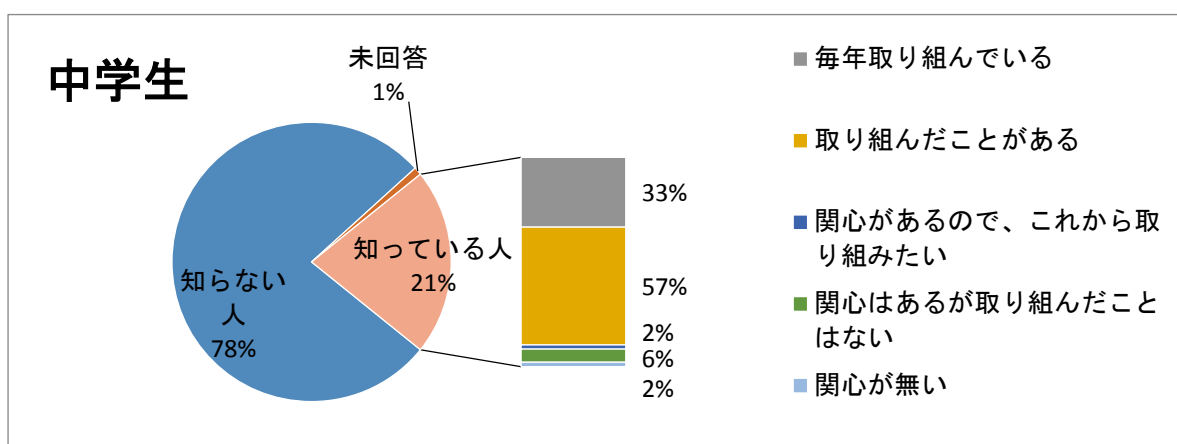
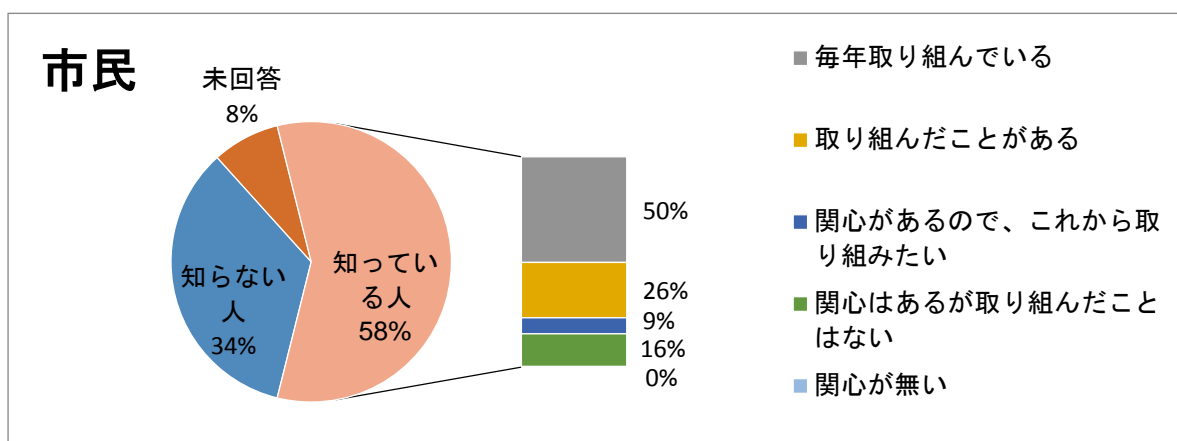


Q17 資源ごみの集団回収について奨励金を交付していますがこのことを知っていますか。

1	知っている
2	知らない
0	未回答

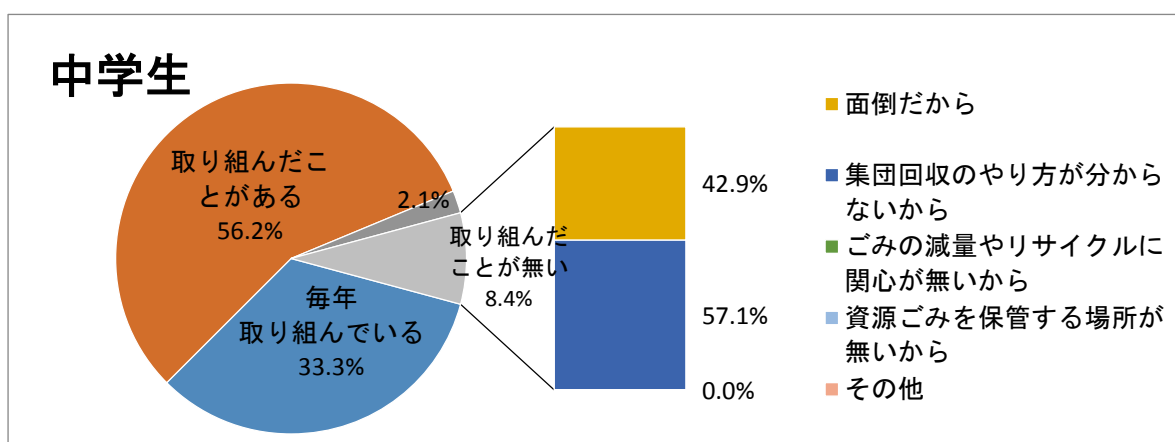
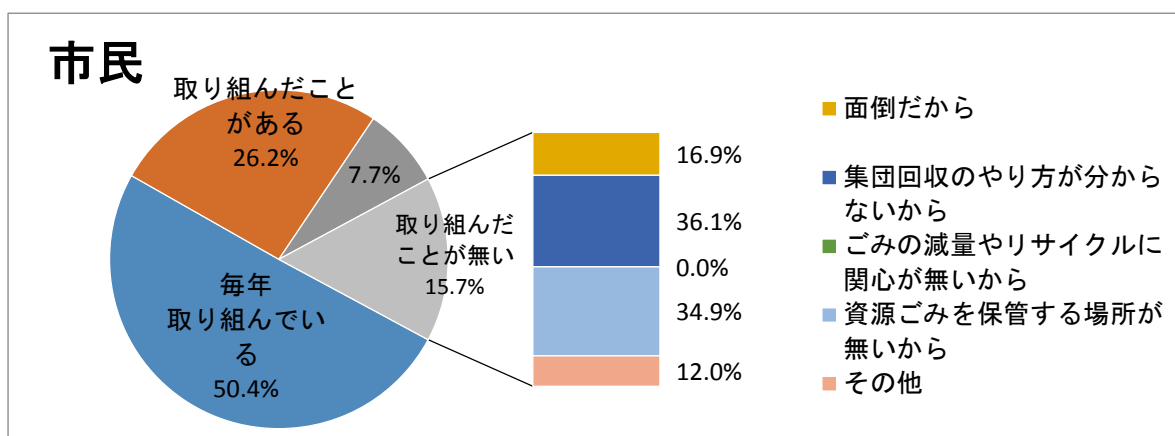
Q18 Q17で「知っている」と回答した方はこれまで、集団回収に取り組んだことはありますか。

1	毎年取り組んでいる
2	取り組んだことがある
3	関心があるので、これから取り組みたい
4	関心はあるが取り組んだことはない
5	関心が無い



Q19 Q18で「関心がない」と回答した方に、あなたが集団回収に消極的な理由は何ですか。

1	面倒だから
2	集団回収のやり方が分からないから
3	ごみの減量やリサイクルに関心がないから
4	資源ごみを保管する場所が無いから
5	その他



(Q20以降は事業所集計と一緒に後述)

(6)《 ごみ処理に関するアンケート 》

【事業所向け】

本アンケートでは、事業所等の事業活動から排出されるごみを「事業系ごみ」
家庭から排出されるごみを「家庭系ごみ」と表記します。

Q10 あなたの事業所は、経営者や従業員のお住まいを兼ねていますか。

1. 兼ねている(Q11へ) 2. 兼ねていない(Q13へ)

Q11 お住まいを兼ねている場合、事業系ごみと家庭系ごみを分けて排出していますか。

1. 分けて出している(Q13へ) 2. 分けずに集積所へ一緒に出している(Q12へ)

Q12 Q11で「2. 分けずに一緒に排出している」と答えた方へお聞きします。

事業系ごみは地区の集積所へ出してはいけないことになってはいますが、地区の集積所へ出している理由を教えてください。

1	事業系ごみの量が少ない
2	家庭系ごみと分別することが難しい
3	その他()

Q13 あなたの事業所では、事業系ごみをどのように処理していますか。

品目毎に該当する欄に○を記入してください。複数の処理をしている場合は、多いものに○を記入してください。

種類	処理方法	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		発生しない	自ら清養園クリーンセンタ-に搬入している	地区のごみ集積所に出している	収集運搬許可業者にごみとして出している	収集運搬許可業者に資源物として出している	リサイクル業者に売却している	自らリサイクルしている	納入業者や販売業者が引き取っている	わからない・その他
ア	生ごみ									
イ	新聞									
ウ	段ボール									
エ	その他の紙									
オ	もえるごみ									
カ	プラスチック製容器包装									
キ	飲料缶									
ク	ペットボトル									
ケ	びん									
コ	もえないごみ									
サ	粗大ごみ									

Q14 あなたの事業所は、ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。

1	積極的に取り組んでいる	(Q15 へ)
2	ある程度取り組んでいる	
3	あまり取り組んでいない	(Q16 へ)
4	取り組んでいない	

< 回答欄 >

Q15 あなたの事業所では、どのようなごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。

(1) 社員・従業員などに対する取り組み(複数回答可)

1	資源ごみ(紙類=新聞紙・段ボール・雑がみ)の分別を徹底
2	資源ごみ(プラスチック製容器包装)の分別を徹底
3	資源ごみ(飲料缶)の分別を徹底
4	資源ごみ(ペットボトル)の分別を徹底
5	資源ごみ(びん類)の分別を徹底
6	紙コップや割り箸などの使い捨て製品の使用を削減
7	納入業者などに包装の簡素化や通い箱の使用を依頼
8	再生紙など環境負荷の少ない物品や原材料を購入
9	ごみ減量化に関する計画の策定や数値目標を設定

< 回答欄 >

(2) 顧客に対する取り組み(複数回答可)

1	レジ袋有料化の実施
2	レジ袋を辞退した方への値引きやポイント付与
3	簡易包装や包装材の軽量化の実施
4	製造・販売した製品などの回収(下取り等)
5	詰め替え可能製品や再生品、リサイクルしやすい製品の積極的な製造や販売
6	食品トレイや牛乳パック、ペットボトル、電池などの回収ボックス設置
7	紙コップや割り箸などの使い捨て製品の使用削減
8	事業性格上、該当しない

< 回答欄 >

Q16 Q14で「3 あまり取り組んでいない」、又は「4 取り組んでいない」と回答した方にお聞きします。
 ごみの減量やリサイクルに消極的な理由は何ですか。(複数回答可)

1	面倒だから
2	ごみの分別方法やリサイクルの方法がわからないから
3	ごみの減量やリサイクルに関心が無いから
4	資源ごみを保管する場所が無いから
5	その他()

< 回答欄 >

Q17 あなたの事業所で、ごみ減量やリサイクルに取り組む上で困っていることは何ですか。該当する項目をすべてお答えください。

1	ごみ減量や分別・リサイクルには手間と費用がかかる
2	ごみ減量やリサイクルの方法がわからない
3	資源物を保管して置く場所が無い
4	従業員に分別の徹底を図ることが難しい
5	機密書類が多く、リサイクルが難しい
6	資源ごみの発生量が少ない、リサイクルするごみが少ない
7	ごみ減量やリサイクルの必要性を感じない
8	その他()

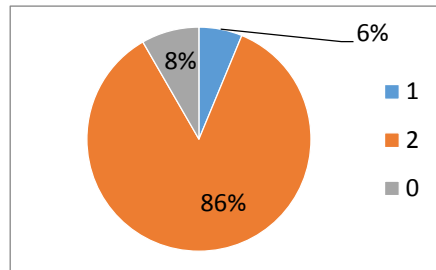
< 回答欄 >

(7)アンケート集計

【事業所】

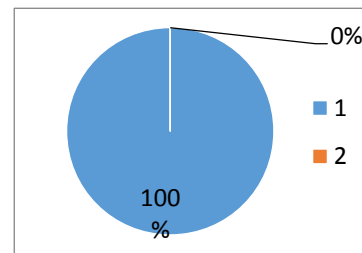
Q10 あなたの事業所は経営者や従業員のお住まいを兼ねていますか

1	兼ねている
2	兼ねていない
0	未回答



Q11 お住まいを兼ねている場合、事業系ごみと家庭系ごみを分けて排出していますか

1	分けて出している
2	分けずに集積所へ一緒に出している



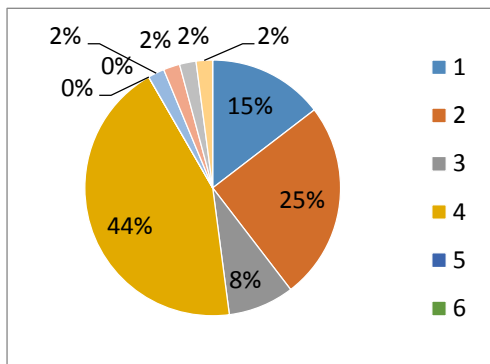
Q12 地区の集積所に出している理由を教えてください。

回答者なし

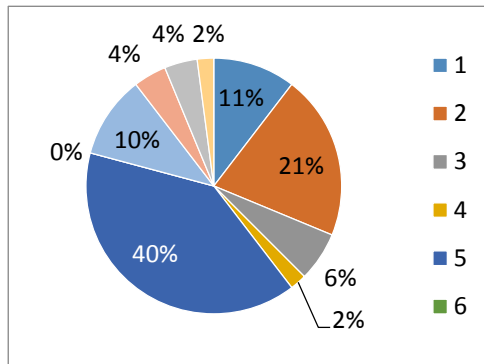
Q13 あなたの事業所では、事業系ごみをどのように処理していますか

1	発生しない
2	自ら清養園クリーンセンターに搬入している
3	地区のごみ集積所に出している
4	収集運搬許可業者にごみとして出している
5	収集運搬許可業者に資源物として出している
6	リサイクル業者に売却している
7	自らリサイクルしている
8	納入業者や販売業者が引き取っている
9	わからない・その他
0	未回答

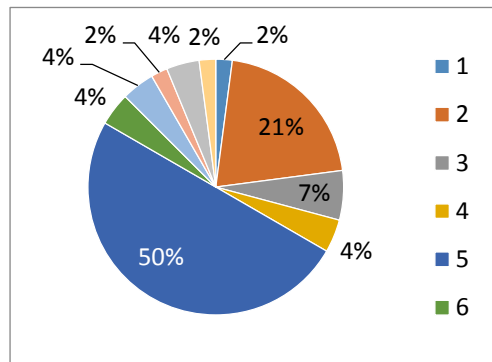
ア 生ごみ



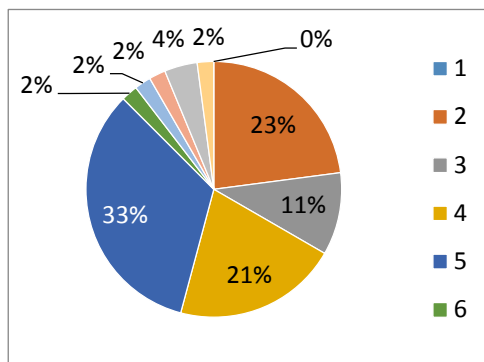
イ 新聞



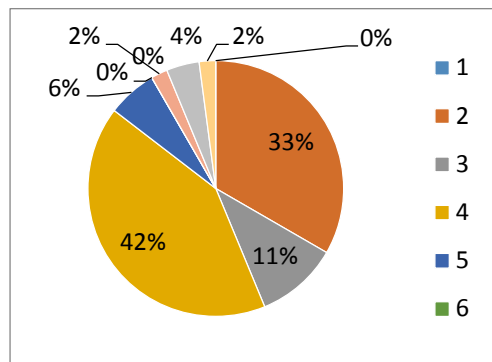
ウ 段ボール



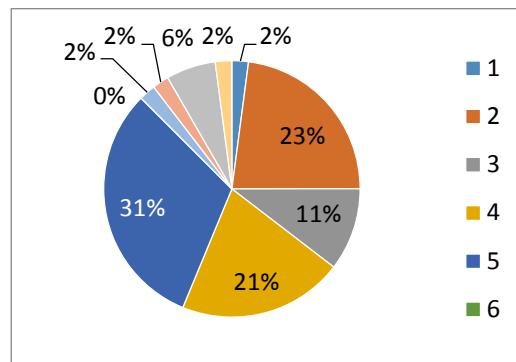
エ その他の紙



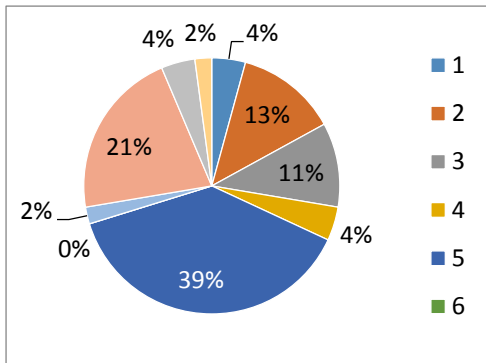
オ もえるごみ



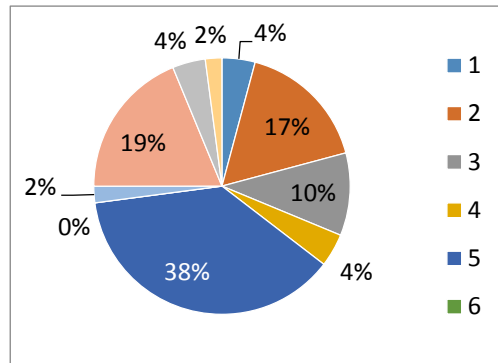
カ プラスチック製容器包装



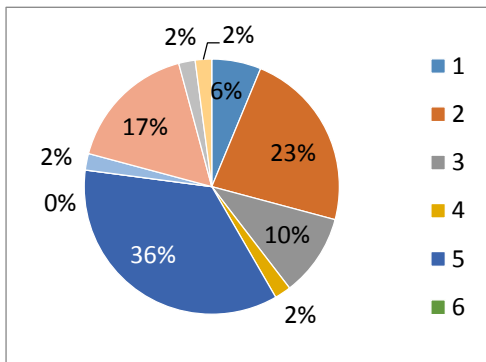
キ 飲料缶



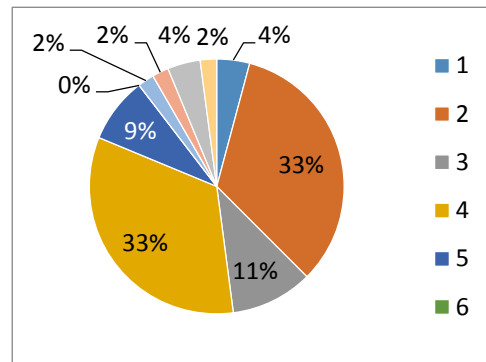
ク ペットボトル



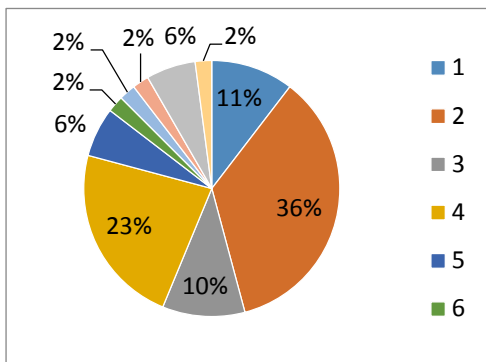
ケ びん



コ もえないごみ



サ 粗大ごみ



(Q18 以降は市民・中学生集計と一緒に後述)

(8)《 ごみ処理に関するアンケート 》
【ごみ処理手数料について】

Q20 平成27年10月からもえるごみの処理は、遠野市、花巻市、北上市、西和賀町の4市町による広域での焼却処理が始まります。
遠野市のごみ処理手数料は、家庭から出る「家庭系ごみ」と事業所やお店などから出る「事業系ごみ」共に無料となっています。(県内手数料一覧参照)
今後のごみ処理手数料の考え方について、該当する欄に○を記入してください。

	無料のままの方が良い	有料にした方が良い
家庭系ごみ		
事業系ごみ		

Q21 Q20で回答した理由について、該当する項目についてお聞きします。
(家庭系・事業系共通)(複数回答可)

無料のままの方が良い		有料にした方が良い	
1	不法投棄や野外焼却が増える	1	ごみ問題への関心が高まる
2	ごみの減量化につながらない	2	ごみの減量化につながる
3	有料化の前に、減量の取り組みを進めた方がよい	3	ごみの分別やリサイクルが進む
4	家庭の経済的負担が増える	4	ごみを出す量に応じた負担になる
5	ごみ処理費用は、市の税金で負担した方がよい	5	市の財源確保になる
回答欄		回答欄	

〈参考〉県内ごみ処理手数料一覧

(単位:円/10kg)

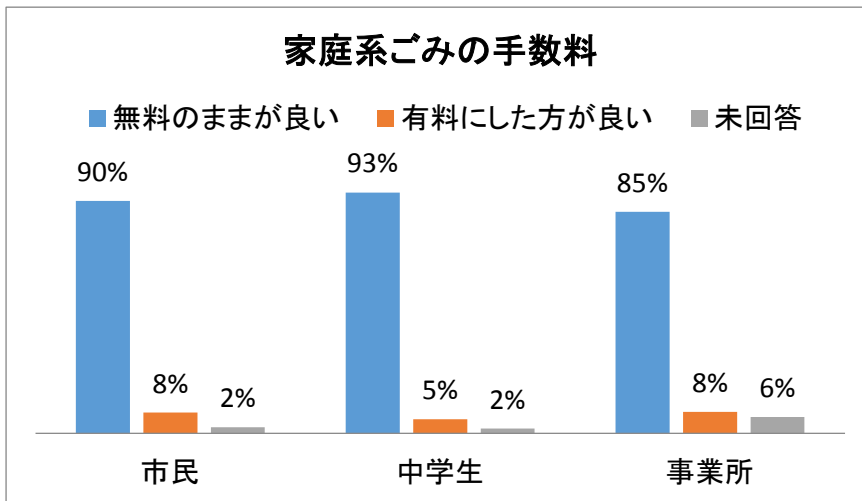
市町村名	家庭から出されるごみ		事業所から出されるごみ
	集積所に出す場合	クリーンセンターに持ち込む場合	
遠野市	無料	無料	無料
花巻市	無料	70	70
北上市	130	130	130
西和賀町	無料	無料	30
盛岡市(旧盛岡市)	無料	50	100
沿岸南部(釜石外)	無料	200	200

Q22 その他、ごみの減量等についてのご意見を記入してください。

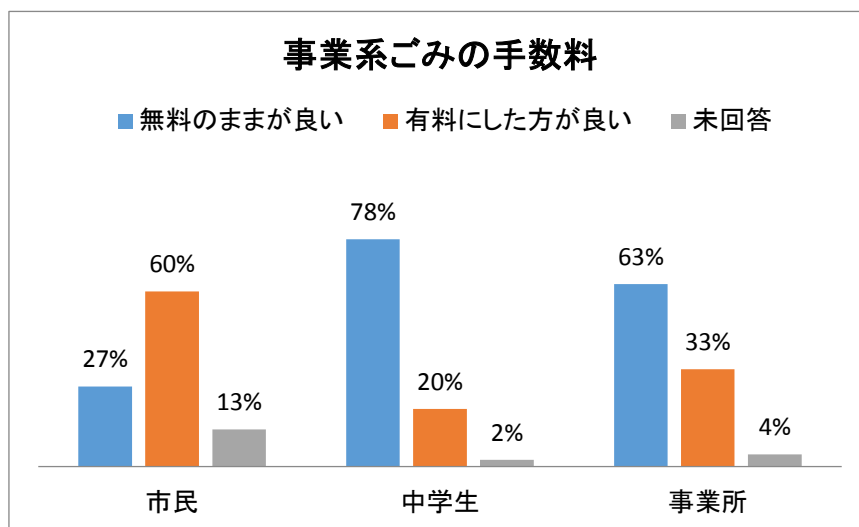
(9)アンケート集計

【ごみ処理手数料について】

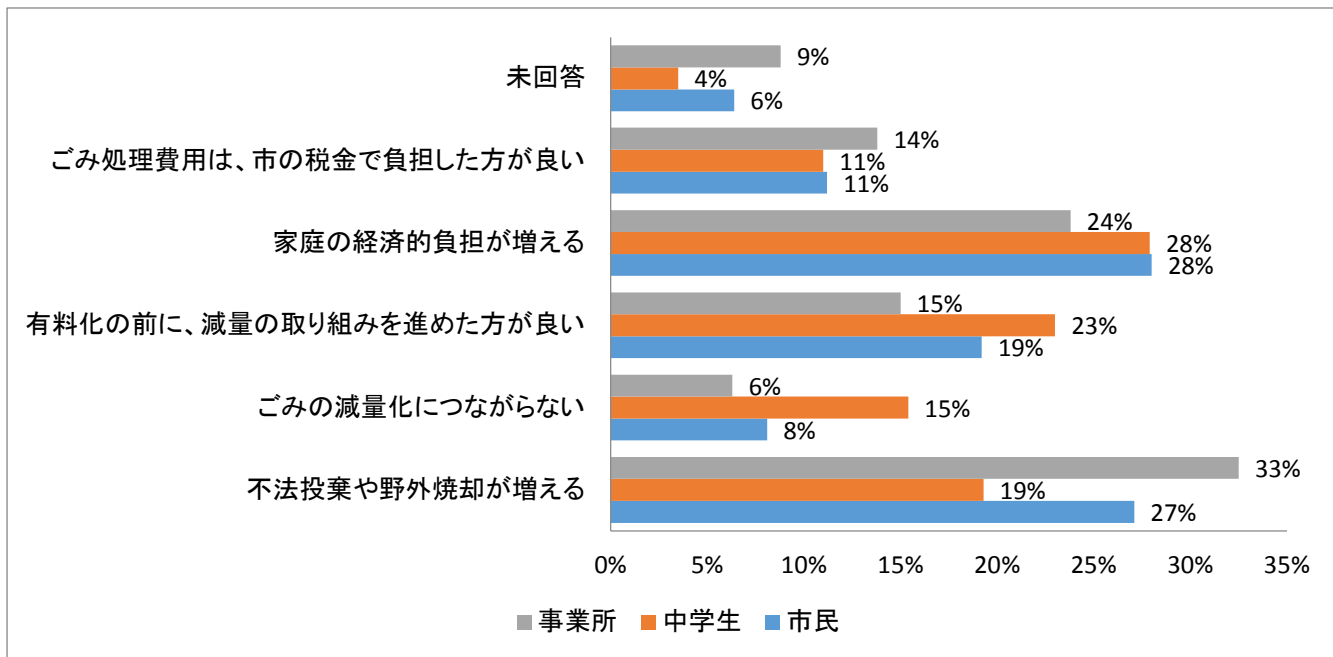
Q20 今後のごみ処理手数料の考え方について
家庭系ごみ



事業系ごみ



Q21 Q20 で回答した理由について、該当する項目について
無料のままが良い



有料にした方が良い

